



2015年度 TIFA 総会

事務局 柏田 泰利

今年度の総会が5月23日(土)、柴崎学習館地下学習室で開催されました。会員総数78名(木曜クラス35、土曜クラス23、松中クラス20)に対し、出席者と委任状提出が75名で総会は成立し開始されました。増田正道副事務局長が議長に選出され、総会資料の式次第に沿って議事が進行了。平成26年度の会長及び各部の活動報告、会計監査報告、及び平成27年度TIFA新体制、予算案、各部活動計画案が報告審議され、いずれも原案通り可決承認されました。



事務局から、従来から運営委員会で議論されている3役の選出について、選挙以外の方法の可能性について提起され、後日運営委員会で検討し、臨時総会を開催することになりました。各部の報告では幾つかの質疑も有りましたが、全議事項目が審議され、総会は無事閉会しました。

尚、総会資料は欠席者も含め全会員や関係部署にも既に配布しましたので詳細はご高覧下さい。

TIFA 総会 会長挨拶

本会のボランティア活動も今年で23年目を迎えました。過去を顧みつつ今後の展望について皆さんとビジョンを共有して参りたいと思います。



私もTIFAに参加して11年目を迎えております。お陰様で皆勤に近い状態で参加できている事を内心よろこんでおります。週1回のボランティア活動とは言え、少し大げさにいえば、老いが進む中で「生き甲斐」の一つかも知れません。余談になりますが日本語の動詞の語尾に「かい」を付けると意味のある言葉になります。「勉強する」が「勉強しがい」、「食べる」が「食べがい」と言うように、人間は、老若男女を問わず生きとし生けるものは、何か「生き甲斐」を見出しながら「生」を全うすべき存在であるといえましょう。

「生き甲斐」とは生きる事によって得ることが出来る「しるし」や[効果]であり「価値」であります。その意味で皆さんが「外国人の為に日本語教室」と言うTIFAのボランティア活動に志を同じくしてご参加いただいておりますことに心から敬意を表したいと思います。

昨年度26年度は、柴崎教室だけで受講者は延べ2,722名、ボランティア延べ2,116名、保育者延べ73名と言う数字が出ております。TIFAの日本語教室は、基本的に外国人に対する生活用語を習得させてコミュニケーション能力を高めてあげる事を支援する事が大きな目標であります。

現在の週1回では、足りないかもしれません。受講者も多国籍化しておりライフスタイルも多様になって来ておりますが、早く地域や職場に定着して頂く為には、週2回に授業回数を増加する事も検討する必要があると考えております。

昨年も春秋2回の南砂小学校と受講生との交流会を実施しておりますが、小学生との交流や日本の学校訪問の機会に恵まれない外国人にとっては、貴重な体験であり、学校側にとっても外国人との異文化交流を大変意味のある機会であるとして、大変好評を博しております。TIFAの年間行事として重要視して参りたいものです。立川市教育委員会の小町教育長にも交流結果をその都度お知らせしております。年1回のバス旅行やイヤーエンドパーティーも年々参加者も多く人気が高くなりつつあり喜ばしい事です。世界ふれあい祭りのバザー参加も自主財源を生み出す方式として、行政の補助金依存体質から自力救済活動へのボランティア団体としての自助努力を実践する活動として継続努力を続けたいものです。

いすれにしても、「仲良く、楽しく、元氣よく」を合言葉に「一人は皆の為に皆は一人の為に」の精神で今年もTIFA活動を盛り上げて参りましょう。

皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。

☆☆異文化体験☆☆

異国での思い

木曜教室 波多野 均

私は、定年退職後の生き甲斐を模索しながら日本語教師養成講座（420 時間）を終了し、良縁があって NISVA（日本財団 技能ボランティア協会）のシニアボランティアとして活動してきました。派遣先は、フィリピン、ベトナムで合わせて3年間の任期でした。「みんなの日本語（初級）」を教材にして、日本に関心を持ち日本語修得意欲が旺盛な若者を対象に試行錯誤を繰り返しながらの授業だったなと想起しています。時には、「日本の歌」をオカリナ演奏を交えて唱和したりもしました。現地の生活環境は十分とはいえず、楽しいばかりでもなかったのですが、それ以上に貧しいながらも明るく輝く現地の若者に触発され、何とか「日日是好日」の心情で過ごす事が出来ました。

ベトナムでの教場は、「バリアブントウ省立職業訓練学校」でした。当校は、同省内に展開する日本企業に就労できる人材を育成する教育機関です。学生に対しては、愛国心はもとより社会的モラルや遵法精神の醸成に関して、しっかりとした訓育が成されます。昨今のベトナムでは日本語学習熱が高まっており、学生は日本企業への就労を目指してハイテク技術や日本語の修得に頑張っています。あの苦難に満ちたベトナム戦争から40年を経た今日、戦後日本の経済成長の道程をたどるかのよう、「日本に追いつけ、追い越せ」の熱気と躍動感に溢れています。日本人が置き忘れたものが在るような想いです。ベトナム人にとって、独自の文化と伝統を有する日本は、憧れの国です。「他国を理解するには、まずは自国を知ることが大事」と言われていますが、異国にあって、正に達見だなど痛感することになり、併せて日本人であることを誇らしくも感じました。

日本と深く関わりのあるフィリピン、ベトナムにて異文化の触れ合いが出来たことに、とても感謝しています。今後とも、国内外を問わず、日本語教育ボランティアとして明日の社会を担う若人に寄り添いたいと願っています。



☆☆受講生の故郷紹介☆☆

（土曜教室）

TIFA 日本語教室の受講生は世界中の国々から来ています。今号（7月号）では土曜教室受講生の中から8名の方の故郷を紹介し、9月号以降、木曜教室、松中教室を順次予定しています。

（敬称略）

氏名：盧 明哲（ノ ミョン Chol）男性 40歳代

故郷：韓国 仁川（インチョン）

行路：羽田空港から仁川空港まで約2時間半、仁川空港から私の生まれた家まで車で40分程です。



仁川はソウル、釜山に次ぐ韓国で3番目に大きい都市で、そこには“自由公園”と呼ばれている有名な公園があり、1950年の朝鮮戦争で活躍したアメリカのメカド將軍の銅像が建っています。彼が指揮した仁川上陸作戦が成功し

たことにより建てられたものです。仁川は海が近く天然塩、魚や貝、タコも沢山とれます。

氏名：シディベ アマドウ 男性、40歳代

故郷：マリ共和国 の都市 カイ（西アフリカの大陸部）

行路：成田空港→パリ（12時間）→首都 バマコ空港（5時間）、更に国内便に乗り換えカイまで約1時間で、待ち時間を入れたら自宅から約24時間です。



マリの面積は日本の約3倍で、人口は約1,600万人です。国土の6割が砂漠や乾燥地ですが、中心部に「ニジェール川」が流れていて、夏は大変暑い（最高46°C）が、冬は温暖（20°C位）で過ごし易く、食べ物も川魚を始め

め美味しいものが多いです。

マリは、多様な民族と文化を育み「共存」することに努力してきた国で、また日本と同じく「ご挨拶」と「おもてなし」を昔から大変大切にしてきた国です。

スポーツはサッカーが盛んで、多勢の有力選手を欧州へ送り出しています。特産品は、綿、とうもろこし、落花生、地産米等の農産物と、金やウラン等の鉱物資源です。

氏名：ピスタ・パンカジ 男性 10代後半

故郷：インド Tehri Garhwal

行路：成田空港→インディラガンディー空港（7.5時間）



→バス（7時間）→自宅 ほぼ、まる1日の長旅です。

故郷のおすすめ料理は、ロティ（ナンとちょっと違う）とカレー、チキンタンドリーで、父はコックさんです。故郷に住む家族や友人とは、facebookなどでやり取り

しています。

氏名：周 星（シュウ セイ） 男性 20歳代

故郷：中国 武漢

行路：成田空港→広州空港（飛行機で4時間半）→湖北省

武漢（電車で3時間半）→黄冈市（フォワンガン）バスで2時間 待ち時間も含めると故郷に帰るのに約15時間か



かります。

武漢は揚子江の中流域にあり、山が多く冬は寒く夏は暑い土地です。日本の様に四季があり、中でも私は春が一番好きで

す。近くには、黄鹤楼という世界的に有名な建造物があります。また、大学の数が多いことでも有名（100校位ある）で、北京、上海、と並びます。私は武漢理工大学、機電学科を卒業し、日本の企業で働いています。

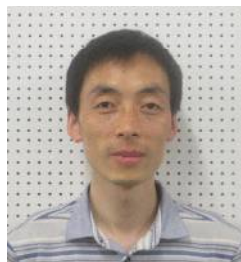
氏名：李 軍強（リー チョンチャン） 男性 30歳代

故郷：中国 陝西省 西安市

行路：羽田空港→北京空港経由（3時間半）→西安空港（2時間）→バス（3時間）→タクシー（10分）

自宅からほぼ1日の長旅でやっと家に着きます。

家族は玄関まで迎えてくれて大変うれしい気持ちになります。西安市には有名な観光地があります。兵馬俑を皆さ



んは聞いたことがありますか？兵馬俑とは顔が人間と似ていて、身長も人間と同じように彫刻した像です。今までに8000体があり、表情がそれぞれで若々しい。まだ発掘中で、兵馬俑の数はまだ多くなって

きています。そして規模の大きい芸術作品だとも言われています。もし皆様がその様な雰囲気に入ると、きっと驚くと思います。

氏名：沈 泰勲（シム テフン） 男性 30歳代

故郷：韓国 韓国の京畿道（キョンギド）

龍仁市（ヨンインシ）

行路：成田空港→仁川空港（2時間）→自宅

龍仁という名前は龍が子を産んだ場所という伝説に由来しています。ソウルの南約40kmに位置し交通の便が



良い事からベッドタウンとして近年人口が増加しています。また韓国民俗村があり外国人観光客や修学旅行生が沢山訪れる市でもあります。駅から少し離れると住宅街が広がり静かな雰囲気になる所は立川市とも少

し似ている部分があると思います。

氏名：志水 清子 女性 60歳代

故郷：山口県宇部市産まれで、育った所は

ブラジル クリチバ パラナ州

行路：成田空港→アメリカの主要空港（12時間）→サンパウロ（12時間）→クリチバ空港（1時間）→自宅

待ち時間を入れると約2日の長旅です。



近くに世界3大滝の一つ“イグアスの滝”があります。料理はフェイジュアダ、ジュラスコ、果物はポンカンが美味しいです。日本のポンカンとは少し違います。

氏名：サガル ムサル 男性 20歳代

故郷：インド MARATHI（マラスイ）

行路：成田空港→ニューデリー空港（10時間）→国内線ムンバイ空港（2時間）→バス→マラスイ（2時間）、自宅からまる1日の長旅でようやく到着です。

季節は6シーズンに分けられ、春、夏、雨季、秋、真冬、冬です。



インドならではの独創的なスポーツがあります。生き残りゲームとして人気のカバディ、それからクリケット。クホクホとグリーダンス等がメジャーで国民に人気があります。そして世界中から観光に来る有名な

寺院も沢山あります。

土曜教室ボランティア研修会

6月20日(土) 16:00~18:00、ボランティア教師の相互研鑽とコミュニケーションを目的としたミニ研修会を開催しました。概要は以下の通りです。

☆橋本氏より新たに作成した“初心者用教材”の利用方法等について説明がありました。コンパクトに纏めてあり、初級レベルの受講生への教材として大いに活用されるでしょう。

☆的場部長から2015年4月~6月の実績では、平均すると一回の教室で約25名のボランティア教師が約30名の受講生を教えていることと、複数の受講生を担当することのメリット、デメリット等の説明があり、それに関する問題点等について活発な意見交換が行われました。

☆4月から地下一階に教室を移したが、開始、終了の都度、地下視聴覚室へテーブル、椅子の倉庫から出し入れが必要で、その作業の安全面での問題が提起されました。

前回の参加者は12名でしたが、今回は18名もの参加者があり活発な意見交換が行われました。



土曜教室のボランティア研修会

TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

土曜教室七夕祭り

7月4日(土)の授業後、七夕祭りを行いました。自分達の願いを書いた短冊をそれぞれに読み上げて笹の葉に飾り付けたり、歌を唄ったりして楽しい一時を過ごしました。



木曜教室七夕祭り

7月2日(木)、授業を早めに終了して「七夕祭り」をしました。それぞれの願い事を短冊に書いて、みんなで「たなばたさま」を歌いました。立川市役所多文化共生係の諸井係長引率のもと、サンバーナディノ市の交換留学の高校生3名も参加しました。



木曜教室の七夕祭り

(左から、諸井係長、交換留学生のアレックス、シェナ、ジェシカ)

TIFATIFATIFATIFATIFATIFA

☆☆TIFA 会員動向☆☆

(敬称略)

【入会者】

木曜：なし

土曜：荒井由貴子、小川雅子、室田和子

松中：今泉麻公子、高木美智子、高木一成

【退会者】

木曜、土曜：なし

松中：齊藤智江子

【休会者】

木曜、土曜：なし

松中：原田香織



土曜教室の入会者

(左から小川雅子、荒井由貴子、室田和子)